

爺さんわんこ星



kazuba

爺わんでござる

2006/2/6

16年と8ヶ月をこの世で暮らし近々あの世へと旅立つかも知れぬ老犬が飼い主様から頂きやしたBGへようこそおいで下さいました。

昨年、逝ってしまった相棒の分もつぶやきます・ぼやきます。

相棒は18年の天寿を全うし、それは々安らかな眠りだった。

医←食住がこれ程良くなると長生き犬が多くなって喜ぶべきことなのだが、不幸な話だって沢山ある。

我輩はスポンサー(飼い主)の娘が小学4年生の時に今の家にやって來た。

その娘が今では子供が二人もいる、信じられないくらい長生きをしたようだ。

犬の幸せは飼い主次第、本日のつぶやきは「ばかあ幸せだなあ・・・・」なーーんてネ。

P Cの前で居眠りしているそこの仲間よ、飯は何を食べさせてもらっている？

ちゃんとフードの成分見てもらいなよ、美味しいのがいいフードだなんて思っていないかな。不味くちや嫌だけどサ、この歳になるとカリカリフードに牛肉なんかトッピングしてもらえて、飯の時間が待ち遠しくてならないよ。

歳をとるってこと

2006/2/7

“衰え”気付いちゃいるけど認めたくない、

コケた時なんざアッチを向いて「ちょい失敗でゲス」って惚けている。
おい老犬! なんて言われても「ワン！」なんて返事はしないネエ、
って言うか、聞こえネエ。

歳をとるといろんな知恵がつくよ。
散歩の行きは調子悪そうに歩き、ご主人様独り占め状態、
帰りは元気ハツラツ～！！

医者が大嫌いなのに今の生活は週2の医者通い。皮下点滴をしないとオシッコが出なくて、
たちまちオサラバ状態になっちゃう。

手術をして膀胱にできた腫瘍を取ること、これが小心者には無理って事でお断りした。
だから通院も仕方の無いことなどと分かっていても大暴れ。
この時ばかりは歳のことなんか頭にまったく無い。

無駄な抵抗で消費するエネルギーは？？？

そしてそれに付き合わされる人間様達よ

本日の爺わんのつぶやき

“アンタらは偉い！”

嫌だって言ってんのに

2006/2/8

今日も医者曰、もう力の限り泣いて叫んで「嫌ダ」って
言ったけれどいつもの点滴は中止にならなかった。

去年の9月末から4ヶ月以上経つっていうのにいまだに
慣れるってことがない。

嫌なものはずっと々嫌、でもやらなきゃ死んじゃうんだから
続ける。

いろんなサプリメントも試したけれど、どうも口に
合わない、折角食べた旨い食事を吐いちゃうから全部止めた。
ここまで生きたら旨いものを食べることだけしか楽しみは残っていない。

今日は疲れているのにスポ母の娘のチビ達が来て、（スポ母とは我輩のスポンサー母）
うるさくてオチオチ寝ていられなかった。
でもこの刺激のおかげでボケないで済んでいる。

本日のつぶやき「チビよ、もうちょっとだけ静かに」

冬季オリンピックが始まるよ

2006/2/9

ネエ々夜中にテレビがついているのって、どうよ。
トリノはトオイね、時差があって夜中のＴＶ観戦なんだって。

番犬やらないで済むからグッスリ？それとも折角の安眠中を妨害される？因みに我輩は後者。
だから昼間グッスリ、まっオリンピックじゃなくてもいつもグッスリで頭を跨れても気付かない。
この間なんて寝床を引きずられても眠っていたっけ。
どこへ連れて行かれたって？何処だったかなあ？
そんな事も忘れてしまうのが歳でござんす。

若い頃は凍りついた道もスイスイ、今じゃ凍っていない所探してモタ々歩き、雪は早く帰ろう散歩、これじゃあオリンピックも逃げて行くよなあ。

オリンピックに参加する選手の中に
50代がいるって、ジャンプかスピードか何なんだ——！
カーリングでごんすよ。
あの氷上清掃？？？
技術と経験がものをいうスポーツとみた、いい成績を出して若い者の手本になってもらいたい。
オリンピックのライブ観戦するとどうなる？

そりゃ寝不足、観戦していなくてもサ。
「夜更かしガンバロウ」とつぶやくものの、

年寄りには「無理々」と又つぶやく。

水ダー水が飲みテエー

2 0 0 6 / 2 / 1 0

夜 中 に 水 入 れ を ひ つ く り 返 し た 。
ガ タ ガ タ ガ ッ チ ャ ン ! ! !
つ て な 音 を 立 て て い る の に 「 何 か 音 し た ~ ? 」
な 一 一 ん て 言 い な が ら 寝 て い る 奴 が い た 。
「 気 付 い て く れ よ 」 と 部 屋 の 中 を 歩 き 回 つ た け れ ど
起 き て も ら え ぬ ま ま 朝 一 一 一 。

オ シ ツ コ ち び り も 最 近 は ち び り か ら 漏 ら し に
な つ て し ま つ て 、 二 箇 所 の 寝 床 を 濡 れ た ら あ っ ち こ
行 き 来 し て い る 。
ち び り 始 め て か ら 何 年 経 つ た だ ろ う 、 最 初 の 頃
医 者 は 歳 だ か ら ・ ・ ・ つ て 。
そ の 頃 、 レ ン ト ゲ ン や エ コ ー を あ て て い た ら 、
腫 瘍 も ま だ 小 さ く て 取 る こ と も 出 来 た の か 。

歳 だ か ら 疲 れ 易 い ? と か ど う せ 歳 な ん だ も ん つ て
思 い な が ら 諦 め ち ゃ つ て い る こ と 多 く な い ?
諦 め る 前 に 医 者 に 行 つ て 「 調 べ て く れ ー ー 」 つ て
吠 え る ゾ ー ー ー 。

考えてくれよ

2006/2/11

祭日だって医者日じゃ。

休みの為、普段と違って大暴れの我輩をおさえるのは
受付の可愛いお姉さん、嬉しいと喜びたいところなのだが
そんな余裕なんか無い、ただひたすら情けないが鳴いて暴れた。

以前にもお姉さんにはご迷惑をおかけした。

まだ汗ばむ季節にお世話になった時、お姉さんの優しい
細腕が毛もくじやらになってしまった。

暴れる我輩を抑える腕は汗ばみ、

抜けた毛が全部ついてしまったのだ。

それは中国の全身毛だらけ人間の如くもの凄い腕だった。

そして今日は紺色のセーターを真っ白に変えてしまった。

この抜け毛は我ながらアッパレである。

と言っても自慢なんか出来ることではないので、

ひたすらゴメンナサイをするしかない。

待合室で一緒になったおばちゃんは可哀相なワンニャンを

何匹も保護して飼っていると話していた。

里親探しのボランティアをしているが

人間にひどく虐待されたのに、人間不信どころか

「お願いボクを飼ってよ」という子もいて、今以上

増やせないのでとても辛いと話していた。

生き物を飼う人間はどんなきっかけが多いのだろうか。

子供の情操教育、子供代わり、衝動飼い、もらって欲しいと言われて仕方なく、
家の無い子を可哀相で等と様々だ。

どんな子でも長い間一緒にいれば

手放すことなんかできない、こうなってくれるのが一番なのだが

中にはこんなはずじゃなかったと飼育放棄をする奴や

自分の欲求不満をぶつけて虐待をする奴、
どうしてこんなに後を絶たないのだろう。

とあるホームセンターのペット売り場のケージの中にいた

犬達が随分と大きかった。
2ヶ月以下は取り扱ってはいけないという法律が出来たのは
喜ばしいことだが、はき違えもはなはだしい。
大きいのにあの入れ物はないだろうよ、ハマっているんだよハマッて！
どうしても生体を売らなくちゃならないのなら
設備も法律改正同様に変えてくれや。

静かな日曜日

2006/2/12

久しぶりに誰も来なかった日曜日、
昼寝日和の一日。
この歳になると食う・寝るが満たされていれば満足。
こんなだから飼い主様がしばらく留守で会えなかつた
時だつて、大して寂しくなんかなかつた。
いつもいる所にいられて飯を食えりやあいい。
毎日、散歩だご飯だと世話をやきそれは々
「可愛がっているのに、薄情者」って怒られそうだ。

どっちが？

2006/2/13

性格があんまり良くない同じ犬種の媚、
最高に性格がいい犬種が違う媚、どっちが
いいと思うか。
種の保存を考えれば同種に限る、でも性格のイイ子が
欲しけりや・・・・。
難しいなあ。
媚になれぬ年寄りが考える事じゃない、
でも不幸な仲間だけは増やしたくないから
ウーン考える！！

早く寝ろや

2006/2/14

やっぱりオリンピックは遠かった。
毎夜、テレビがついている生活で寝不足。
録画よりライブじゃないとネ。
なんて言って、いくらも時間経たないうちに
聞きたくない大きなイ・ビ・キ。
誰が為にテレビはついているのか。
それにしても拍子抜けしてしまったオリンピック。
あんまり騒ぐと口クなこと無い、っていつも
思う。
マスコミにのせられちゃダメ、もっと静かに
応援しようよ。

ウーッなんか～なんか！！

2006/2/17

変ヘンヘン気持ち悪ーーーう！
オシッコがーーー、出たのにまた出るウ！！
でも出ないよーーー。
と一晩中部屋の中を歩き回って、一万歩くらい
歩いたか。
朝、起きてもずっと同じ状態だったので医者に行った。
レントゲンには何も映らなかった、炎症止めをもらって
飲むことになった。
ここ数日、目やにや鼻汁を伴うクシャミも出まくっている。
レントゲンに映った腸の位置が？
って言うことは、膀胱じゃなくともっと上の方にも異常有なのか。

気持ちワリーー

2006/2/18

今日もダメ！

膀胱炎再発か？薬が効かない。

二日も続けて医者行き、疲れた——。

膀胱の腫瘍が大きくなって尿道を圧迫か、

ただの膀胱炎か、どっちでもいいからこの気持ち悪さ
をどうにかして欲しい。

去年の9月、今みたいな調子から始まって
血尿がひどくて検査で腫瘍が見つかった。

あれから5ヶ月、その間に長年一緒にいた相棒を

亡くした、相棒は10日間程調子が悪く老衰で18年の

犬生を終えてしまった。

腫瘍が見つかった時、我輩はお先に失礼などと思っていたのに
、順が違うよと言わんばかりにアッという間に

相棒は逝ってしまった。

その相棒の犬生は波乱にとんでいたけれど
最後は何とも静かで穏やかだった。

相棒の思い出話はこの次に書く。

相棒って

2006/2/19



桜の季節に

5匹の子を産んだ。

いつも散歩で会って仲良くしていた間柄だったせいか

子を産んすぐの頃、見に行くと

「待っていたの、トイレ行ってくるからこの子達をお願いネ」ってよく頼まれた。

旦那に頼めばいいのに「旦那は頼りなくてダメ」

って。

事情がありその場所から立ち退きを迫られて、

旦那と生れたての子供5匹の7匹で我が家に

やって来てしまった。

一ヶ月ほどの間に旦那と子供はそれぞれいい里親さんに

巡り会う事が出来てお別れとなり、相棒だけが

うちに残った。

その一ヶ月は凄いものだった。

旦那犬も相棒も放浪癖があり脱走を繰り返し、

ある日とう々旦那は捕獲されてしまった。

捕獲されてしまった旦那犬の乗る車を吠えながら

追いかける相棒の様子はまるで映画のワンシーンだったと

聞いた。

貰いさげに行き、旦那犬と再会した時の相棒のシッポはちぎれそうだった。

いつも一緒の時は頼りないとぼやいていた相棒、

ちょっと妬けちゃった。

スポンサー母は相棒の子育てに感動し、

先住犬の我輩の意見もきかず相棒を我が家に残すことに

決めていた。

庭の片隅で暮らす相棒、家の中でぬく々暮らす我輩。

これはおかしいとの意見から二匹で家の中とあいなった。

まだ々思い出話はつ・づ・く。

まだ迎えに来るな

2006/2/20

ダメだーー、膀胱炎のひどく辛い症状がいまだに
続いている。

起き上がれば出たい、でもほんの少ししか出ない
一日ウトウトしているかウロウロしている。

相棒が寂しくなって迎えに近くまで来ているのか、
それほど仲良くはなかったが長年一緒にいたからなあ。

辛いけれどまだもう少し頑張る、もうちょい待っててや。

おしつこシートの海になってしまった部屋、辛い航海はいつ終ることか。

思い出話し

2006/2/21

相棒のことを思い出しながら
ウトウトしている。
随分と昔の話だが、スポンサー父母はよく相棒の
散歩のことで喧嘩をしていた。

放浪生活をしていた相棒にリードをつけるのは
可哀想だ、飼犬になったからには人間社会の掟も守らないといけない、
たかがリード1本と思うなけれリード紛争勃発！

4年ほど前に放浪癖が抜けない相棒が行方不明になり
3ヶ月後に発見され連れ帰って、やっとリード紛争は
終局を迎えた。

この3ヶ月間、スポンサー母は相棒探しに必死だった。
ポスターを貼り、見かけたと情報が入れば明け方から
遠くまでチャリンコで何日も出かけて行ったこともあった。
我輩もあんまりいい鼻じゃないけれど、
あちこち嗅ぎまくって歩いた。
いつも一緒にいたから寂しくてならなかった。
この時にかなり老け込んでしまったような気がする。

どんな相手でも仲間っていうものは必要なんだと
この時つくづく思ったよ。

空気のような存在の同居犬だって仲間。
喧嘩友達だって仲間だ。

3ヶ月後に又会えるなんて、
遠く彼方の相棒を引き寄せたスポンサー母の凄い念力はこの次に書く。

最悪か・・・・

2006/2/24

今朝は一時歩くことが出来なかった。
歩こうとすると倒れてしまう、随分前だが
同じようになつた事がある。
鼻汁に血が混ざっている、何がどうなつたのか
いろ々良くないことを考えてしまう。

膀胱の腫瘍はやっぱり悪性で転移か、調べたのだが
はっきりとは分からなかつた。
この症状では悪性で転移としか思えない。
歳のせいで進行が遅いから、こうしてジワ々と
辛い症状がいろ々と出てきているのだと思う。

それにしても辛い、相棒に迎えに来てよと
言いたくなる時も近いのか。

旨いものを食べること・散歩をすること・寝ること
・頭や体を撫でてもらうこと
こんな楽しみも一つ二つと消えていく。

でもまだ旨いものだけには反応も敏感、
後僅かだゾー、旨いものを沢山食べさせてくれや。

赤い糸の先に

2006/2/25

失踪した相棒を見つけようと3ヶ月頑張った
スポ母が最後にやった事、
それはネットの里親探しサイトをあちこち
うろついてみた事。

どれだけサイトの数があつただろうか、そして何件目だったろうか
母の目を点にしてしまったのは。
赤い糸、その先は随分と遠い地に繋がっていた。

相棒を保護してくれたそれは々優しい方々がいた。
どなたか飼ってくださいと載せてくれていたのを見た母、「同じように見えるだけ」等と言われても
相棒であると言い抜き迎えに行った。
母はわずかな特徴も全て一致していたという。
3ヶ月の放浪生活は相棒の肉をこそげ取り、ガリ々の姿に
させてしまっていた。
初めて会った頃の姿を思い出さずにはいられなかった。
都会の数々のそれは々大きな街道を越えて旅した相棒。
誰一人その様子を語ってくれる者はいない。

家にいた頃、「ソロソロ切らないとネ」と言って
いた伸びた爪は、磨り減り肉球に食い込み見えない状態だった。
家とは反対方向に歩いて歩いて磨り減ってしまったのだ。

そんな相棒は全ての力を使い尽くして穏やかな眠りへと
つけたのだ。
我輩にはまだ僅かに残る力がある故に苦しい。

飼い犬がいなくなってしまった時、
探しているのは人間だけじゃない、必死で我が家を探しまわって
いる我々犬がいることを忘れないで欲しい。
そして探すのを諦めないで欲しい。

アーネーそれにしても調子悪りいーー。

雨の日は

2006/2/26

この歳になると散歩って、気がすすまないのに連れて行かれる。

雪だって行くんだよなあ、さすがに台風だけは

通り過ぎるまでは出られない、でも過ぎたらすぐに

出る。

でもこの散歩のペースが崩れると

犬共々人間まで調子狂って体調に悪いみたい。

だから「今日はいいよ」なんてグズッちゃダメ、

長生き元気の源は食と運動だからサ。

辛い話

2006/3/3

自分の体もさることながら、ひどく辛い思いをしている
仲間のことが気になってならない。

陽も当らぬ真っ暗な車庫の中にヒモに繋がれたまま
ずっと暮らしている仲間がいる。
餌と水だけを与えられ、散歩なんてしたことが無い。

肉球にくい込みそうなほど爪は伸び、排泄物にまみれ、
人を寄せ付けぬほど人間不信になっている。
飼い主はどうにも出来ないと言う。
何がどうできないのかを聞きたい。
生殺し状態で仲間は何を思い生き続けているのだろう。

命あるもの、どんなであれ生きていればいいのか問いたい。
何とかして救いたいと今動き始める。

獣医に連れて行き、爪を切り清潔にしてもらう、これは

お金がかかるから出来ないという人間、
辛い思いをこれ以上させない為に出来ることを考えて
もらえない仲間、涙なんか流してやったってどうしようもない。
動くのみだ。

体の調子がかなりひどくなつて来た。
春は来るのか。

辛くて々

2006/3/10

ぼやき以外はなーーんにもナシ。
治療も半年近く経ち、薬が効かなくなつた。
この歳になつたら大して怖いものなんて無いのに、
この病だけは怖過ぎて太刀打ち出来ない。

されるがままの日々、治療を続けてくれている
スポ母、治療は酷だったのかと自己嫌悪に陥っている。

気分がちょっとでも良ければ「そんなことないゾ」、
辛くて苦しいと「そうだヨそのとおりだヨ」ってな
具合でまだ生きていたかったり、もうソロソロおいとま
したかったりと、かなり不安定。

辛い思いをしている仲間の話、進展が有った。
詳しいことは次に書こうと思う。

もうダメだ——

2006/3/14

膀胱癌の末期にいよ々突入か、
食べられない・眠れない・歩くことが・・・・。
入院の話には「家じゃなくちゃイヤダ！」
、医者もこれは小心者の我輩には強くは
勧めない。

辛いが点滴に通うしか手立てが無い。
昨日から食べられなくなって僅か一日半で
かなり衰弱。
一生懸命に食い貯めてきたものはどこへ行っちまったんだ。

昔の仲間たちは外暮らしで神経も使い、栄養バランス
なんて無縁の食生活、寿命が今より10年近く短かった。

そんな仲間たちのことを思えば
16年も生きたのだから、ここらでさよならするのも
いいのかも知れない。

撫でたり擦ったり抱いてもらう事、これが今一番して欲しい事。
ずっとずっと一日中していて欲しい。
でもスポンサー母は医者代稼ぎの仕事もあるし大変。

オシッコシートの海は広くなるばかり、それと共に航海は
難儀になっていく。
荒波を超えるとこの海は凪ぐのか、静かな海で漂いたい。

人間は何を考えているのと聞く、こんなことを思いながら
ただ々痛みや苦しみに耐えているんじゃ。

永久の旅へと

2006/3/24

まあ、苦しいのなんのって、こここのところずっと調子悪く
日に日に衰えて、目が全く見えなくなった。
鼻もひどくて息苦しくてならない、そして足が・・・・
医者の治療も限界で貧血・不整脈・高熱、この歳では
これを乗り越える余力はもう無い。

永久の旅立ちの時が来た。
楽に旅立ちたかったのだが出る前にこの世で最後に神は
痛みという試練を与えた。

苦しい旅立ちを見送ってくれたスポ母スポ父お医者の皆、ありがとう！！

【爺わんの遺言】

犬が過ごし易い所は人間が暮らすのも最適な所、動物を
排除して過ごし易くなんて思うとひどい目にあうよ、仲良く
共存していく方法を考えて欲しい。

ではこれにてブログも終わりとします。
読んでくれた皆さんありがとう。

夜空を見上げると瞬く星が一つ増えたような・・・・

忘れないからネエ



爺さんワンコ星

<http://p.booklog.jp/book/128281>

著者 : kazuba

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kazuba4811/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/128281>

電子書籍プラットフォーム : パブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トウ・ディファクト